

目標達成計画

作成日: 平成28年2月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所の移転前と同様に、入居者の日常的な地域交流が望まれる。	入居者の日常的な地域交流を目指す。	運営推進会議を基盤とし、自治会長等からの助言を得ながら、少しずつ現地域との交流を拡大させていく。	12ヶ月
2	23	収集した入居者の生活歴が十分に活用されていない。	把握した生活歴は記録として残し、サービスの質の向上に繋げる。	日常生活の中で収集出来た生活歴を記録として整備し、介護計画に反映させる事でサービスの質の向上に繋げていく。	3ヶ月
3	54	移転後間もない為に居室が殺風景である。尚、居室のドア、透明ガラスのスリットについて、様々なメリットがあるものの、更なるプライバシーへの配慮が望まれる。	居心地の良い居室作りを行うと共に、プライバシーについて全職員で協議する。	入居者にとっての居心地の良さとは何かを踏まえた上で、家族の協力を得ながら居室を整備していく。また、居室のドア、透明ガラスのスリットについては構造上の問題もある為、法人とも協議し、方向性を定める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月